

# アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課												
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え																
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。																
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。																
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方 2019年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196町内会中121の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である75町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18町内会については2020年度末までの作成を目標とし、それ以外の57町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2021～2023年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。													
○目標値と進捗状況																
年度	2020 実績	2021														
		目標値	実績	進捗率												
年度毎の 目標値	135 町内会 /196 町内会	155 町内会 /196 町内会	149 町内会 /196 町内会	82%												
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2">進捗率算出（積み上げ式）</td> <td colspan="2">※2019実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">149</td> <td style="text-align: center;">- 121 ※</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">155</td> <td style="text-align: center;">- 121 ※</td> <td></td> <td style="text-align: center;">34</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）		※2019実績値		149	- 121 ※	=	28	155	- 121 ※		34
進捗率算出（積み上げ式）		※2019実績値														
149	- 121 ※	=	28													
155	- 121 ※		34													
○2021年度の取組内容等 作成を目指した20町内会（東浄地区16町内会、未作成4町内会）と協議を行い、14町内会は作成・配付した。残りの6町内会は、学区全体版で的確な避難行動が行える等の理由で作成に至らなかった。  （参考）「地区別防災マップの作成状況」は次ページに記載																
○2022年度の目標値と取組方針等																
目標値	取組方針等															
178 町内会 /196 町内会	当初計画の23町内会（戸坂地区9町内会、牛田新町地区9町内会、早稲田地区5町内会）の防災マップの作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）を行う。 また、これまで作成に至らなかった6町内会に対し、引き続き意向を確認していく。															
○取組上の課題等 町内会の防災マップ作成に当たり、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、防災士又は区役所職員が、まち歩きや会議など防災マップ作成のための支援を行う。																
○備考																

(参考)

地区別防災マップの作成状況

(単位：町内会)

地区名	町内 会数	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度実績			2022 年度 計画	2023 年度 計画
				目標値 (A)	作成数 (B)	未作成数 (A-B)		
福 田	18	18	-	-	-	-	-	-
馬 木	18	-	-	-	-	-	-	18
上 温 品	16	16	-	-	-	-	-	-
温 品	25	25	-	-	-	-	-	-
東 浄	16	-	-	16	14	2	2	-
戸坂城山	8	1	5	2	0	2	2	-
戸 坂	9	-	-	-	-	-	9	-
牛田新町	9	-	-	-	-	-	9	-
牛 田	22	22	-	-	-	-	-	-
早 稲 田	5	-	-	-	-	-	5	-
中 山	22	22	-	-	-	-	-	-
尾 長	19	16	2	1	0	1	1	-
矢 賀	9	1	7	1	0	1	1	-
計	196	121	14	20	14	6	29	18
累計	-	121	135	149			178	196

※ 東浄地区1町内会（鈴ヶ台）及び矢賀地区（パークハウス東山）は、作成に向けて調整中

※ 東浄地区1町内会（中山台）、戸坂城山地区2町内会（戸坂大上四丁目、戸坂百田親和会）及び尾長地区1町内会（上大須賀町）は、今年度、町内会長に改めて作成の意向を確認したところ、学区全体版の防災マップでの確な避難行動が行えるということで、作成に至っていない。

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。				
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 新型コロナウイルス感染症が拡大するまでは「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアにおいて、各エリア1学区以上で訓練を実施していた。今後、同様な形で訓練を継続する。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の目標値	1 地区/年	4地区/年	3地区/年	75%
○2021 年度の取組内容等 4つのエリアの学区自主防災会長等と防災訓練の実施に向けた協議を行い、全エリアで1回以上の防災訓練を行うように調整を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、戸坂エリアについては実施に至らなかったが、3つのエリア（二葉、福木・温品、牛田・早稲田）については、防災訓練を実施した。 (参考)				
区 分	学区	月 日	開催場所	備 考
牛田・早稲田エリア	早稲田	7月31日(土)	早稲田公民館 早稲田集会所	避難所運営訓練を実施
二葉エリア	尾長	11月20日(土)	尾長小学校	避難所運営訓練を実施
戸坂エリア	中止	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
福木・温品エリア	温品	3月27日(日)	温品小学校	避難所運営訓練（東区防災訓練）を実施
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4地区/年	二葉エリア・・・尾長小学校で5月22日に防災訓練を開催 福木・温品エリア・・・上温品小学校で10月16日に東区防災訓練を開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・早稲田集会所等で6月11日に防災訓練を開催			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練を計画どおり実施できなかったことから、時間の短縮や規模を縮小するなど内容を見直すなど、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、実施に向けて自主防災組織等と協議していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的 な取組	要支援者を地域で支えよう！	担当課	地域起こし推進課 地域支えあい課									
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (2) 避難行動要支援者への支援													
事業目的・内容 災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的な事項を整理した計画（個別計画）の作成支援を行う。													
○課題と対応 要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。													
○指標 対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数			○目標値の考え方 2019 年度までに4地区（東浄・上温品・温品・福田）で作成している。2020 年度の名簿提供時から、作成した個別計画数を報告していただくこととし、1 年度あたり 2 地区（2024 年度は1 地区）での作成を目標とする。										
○目標値と進捗状況													
年度	2020 実績	2021											
		目標値	実績	進捗率									
年度毎の 目標値	6 /13 地区	8 /13 地区	13 /13 地区	225%									
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> <td style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">- 4 ※</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">- 4 ※</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値	13	- 4 ※	9	8	- 4 ※	4
進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値											
13	- 4 ※	9											
8	- 4 ※	4											
○2021 年度の実績内容等 避難行動要支援者で、個人情報の外部提供に同意された人の名簿（同意者リスト）に掲載された 1,119 人のうち、災害危険区域に居住し、避難時に支援の必要があるかどうかの把握ができていない 217 人について、学区自主防災会連合会や民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等の協力を得て調査を行い、避難支援者がいない人と判明した 43 人を重点的に個別避難計画の作成を支援した。 その結果、16 人の個別避難計画の作成支援を行い、未作成であった 7 地区（戸坂、戸坂城山、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長）すべてで個別避難計画を作成した。 （参考）「2021 年度の個別避難計画の作成状況」は次ページに記載													
○2022 年度の目標値と取組方針													
目標値	取組方針等												
10 /13 地区	引き続き、地域の自主防災組織や民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等と連携し、個別避難計画の作成支援を行う。												
○取組上の課題等 2022 年度についても、同意者リストの更新が行われることから、2021 年度と同様に、同意者リストの「避難支援者がいない」「実態不明」について、改めて実態調査を行い、地域と連携して個別避難計画の作成支援を行う。													
○備考													

## (参考) 2021 年度の個別避難計画の作成状況

地区名	同意者リスト				東区独自の実態調査			単位：人
	要支援者数	危険区域外	家族等の支援が可能	実態不明	居住なし 又は 4階以上に居住	避難支援者がいる	避難支援者がいない	個別避難計画作成数
福田	59	30	21	8	1	7	0	2021 年度 0
馬木	68	22	26	20	0	17	3	0
上温品	49	18	24	7	0	7	0	1
温品	72	46	19	7	0	4	3	2
戸坂	163	52	57	54	9	35	10	3
戸坂城山	52	12	27	13	1	10	2	1
東浄	83	38	29	16	3	12	1	1
牛田新町	52	24	22	6	2	2	2	1
牛田	119	56	41	22	3	15	4	2
早稲田	38	10	18	10	0	8	2	2
中山	70	40	24	6	0	5	1	1
尾長	225	118	74	33	6	19	8	2
矢賀	69	29	25	15	1	7	7	0
計	1,119	495	407	217	26	148	43	16

※ アミ掛けは2020年度までに個別避難計画を作成した地区（6地区）

2021年度は、未作成であった7地区すべてで個別避難計画を作成した。

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0人	500人	240人 〔 YouTube 145回視聴 〕	77%
○2021 年度の実績内容等 12月4日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、これまでの内容（講演会）を見直し、地域コミュニティの活性化につながる活動をしている2団体（牛田学区社会福祉協議会、東地区保護司会）の活動発表を行った。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、参加人数を東区民文化センターホールの定員の約半分に制限して開催した。 なお、3月に大会の内容を分かりやすく伝える動画「自分たちのまちは自分たちで創る～東区のコミュニティ活動～」を広島市公式 YouTube チャンネルで配信するとともに、コミ協構成団体へ動画のDVDを配布した。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
500人	2021年度同様、地域活動の参考になる講演や頑張っている団体の活動発表の場とし、好事例を知ってもらうことで、団体同士の連携や新たな活動に向けての活力につなげる。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催する。また、より多くの方に視聴してもらえるよう、YouTubeによる動画配信を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が2件であるため、毎年度2件以上を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>3件 /年</td> <td>2件以上 /年</td> <td>4件 /年</td> <td>200%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	3件 /年	2件以上 /年	4件 /年	200%
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	3件 /年	2件以上 /年	4件 /年	200%													
○2021 年度の取組内容等 1 次募集での新規申請は2件あり、2次募集に向けて地区社会福祉協議会への手引き等の案内の送付や、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した。その結果、新規申請が2件あり、今年度実績は4件となった。																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">団体名（補助額）</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上温品地区社会福祉協議会 （10万円）※</td> <td>地域の桜の名所を会場とし、子どもたちの思い出作り、地域交流の取組として「上温品ちびっこ桜まつり」を開催する。</td> </tr> <tr> <td>馬木地区社会福祉協議会 （10万円）</td> <td>地域資源であるニヶ城山での山歩きを促進するため、マップの作成や登山道の整備、ハイキングイベントの開催等を行う。</td> </tr> <tr> <td>牛田東四丁目町内会 （50万円）</td> <td>町内会区域内の空き家を、地域住民が無償で利用できる新たな集会拠点として改修し、町内会活動や高齢者サロンなどを開催する。</td> </tr> <tr> <td>中山台町内会 （10万円）</td> <td>幅広い世代で構成された「三世代交流クラブ」を立ち上げ、町内のイベント企画・運営を行うなど、若い世代の地域活動参加を促進する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルスの影響により事業を中止し、2022 年度に再度新規申請があった。</p>					団体名（補助額）	事業内容	上温品地区社会福祉協議会 （10万円）※	地域の桜の名所を会場とし、子どもたちの思い出作り、地域交流の取組として「上温品ちびっこ桜まつり」を開催する。	馬木地区社会福祉協議会 （10万円）	地域資源であるニヶ城山での山歩きを促進するため、マップの作成や登山道の整備、ハイキングイベントの開催等を行う。	牛田東四丁目町内会 （50万円）	町内会区域内の空き家を、地域住民が無償で利用できる新たな集会拠点として改修し、町内会活動や高齢者サロンなどを開催する。	中山台町内会 （10万円）	幅広い世代で構成された「三世代交流クラブ」を立ち上げ、町内のイベント企画・運営を行うなど、若い世代の地域活動参加を促進する。			
団体名（補助額）	事業内容																
上温品地区社会福祉協議会 （10万円）※	地域の桜の名所を会場とし、子どもたちの思い出作り、地域交流の取組として「上温品ちびっこ桜まつり」を開催する。																
馬木地区社会福祉協議会 （10万円）	地域資源であるニヶ城山での山歩きを促進するため、マップの作成や登山道の整備、ハイキングイベントの開催等を行う。																
牛田東四丁目町内会 （50万円）	町内会区域内の空き家を、地域住民が無償で利用できる新たな集会拠点として改修し、町内会活動や高齢者サロンなどを開催する。																
中山台町内会 （10万円）	幅広い世代で構成された「三世代交流クラブ」を立ち上げ、町内のイベント企画・運営を行うなど、若い世代の地域活動参加を促進する。																
○2022 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 件以上 /年</td> <td>「市民と市政」や Facebook を通じて既存団体の活動を広報紙、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2 件以上 /年	「市民と市政」や Facebook を通じて既存団体の活動を広報紙、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。									
目標値	取組方針等																
2 件以上 /年	「市民と市政」や Facebook を通じて既存団体の活動を広報紙、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。																
○取組上の課題等 引き続き地区社会福祉協議会や団体長に向けてのチラシや案内の送付や、「市民と市政」、公民館だよりで紹介記事を掲載するなどして、新規申請の掘り起こしを行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組	地域の安全は地域で守ろう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 台 /年	5 台以上 /年	6 台 /年	120%
○2021 年度の実績等				
4 団体より申請があり、計 6 台の設置を支援した。 また、6 月 29 日開催の東区コミュニティ交流協議会総会や、追加募集（9 月 1 日～10 月 15 日）の際、未設置地区に当該補助制度を積極的に活用するよう呼び掛けた。 (参考) 広島市地域防犯カメラ設置補助制度による防犯カメラ設置状況				
地 区	～2020 年度	2021 年度		計
		6 月募集	追加募集	
福 田	3 台	2 台	—	5 台
馬 木	9 台	—	—	9 台
上 温 品	1 台	—	2 台	3 台
温 品	1 台	—	—	1 台
東 浄	—	—	—	—
戸坂城山	—	—	—	—
戸 坂	1 台	—	—	1 台
牛田新町	—	—	—	—
牛 田	9 台	—	—	9 台
早 稲 田	—	—	—	—
中 山	2 台	—	—	2 台
尾 長	9 台	2 台	—	11 台
矢 賀	—	—	—	—
計	35 台	4 台	2 台	41 台
		6 台		
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 未設置地区に対して当該補助金を積極的に活用するよう呼び掛けていく。				
○備考				



## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和 37 年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が 15 か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度 20 か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	18 か所 /年	20 か所 /年	26 か所 /年	130%
○2021 年度の実績内容等 新規要望のあった 21 か所については全て設置を完了した。また、市からの補助を受けて町内会が新設する防犯灯も 5 か所設置され、合計 26 か所となった。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20 か所 /年	町内会から防犯灯設置についての要望や「街路灯維持補修費補助金申請」の受付時など、市による防犯灯の新設の要望又は町内会による防犯灯の新規設置補助等の相談があれば、対応の是非を判断した上で、可能であれば積極的に対応していく。			
○取組上の課題等 防犯灯の新設については、東区役所（維持管理課）で工事を施行することができないため、要望を受けてから設置するまでかなりの時間を要している。 また、本庁（都市整備局設備課）も複数区を取りまとめた上で工事発注するため、事務処理等に時間を要している。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0回 /年	6回以上 /年	3回 /年	50%
○2021 年度の実績内容等 交通安全運動街頭キャンペーンは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、春及び秋は中止したが、人数制限等の感染対策を行い、夏及び年末は実施した。 また、自転車交通マナー教室は、6月に開催する計画であった第1回は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から中止したが、2月に開催する計画であった第2回は、広島朝鮮初中高級学校からの実施要望もあり、実施時期を前倒して12月20日に実施した。 交通運動期間中は、街頭キャンペーンの実施の有無に関わらず、区役所ロビー展、のぼり旗の掲示及び東区 Facebook 等により啓発を行った。				
(参考) 交通安全運動街頭キャンペーン等の開催状況				
区 分	計 画		実 績	
			月日	場 所
交通安全街頭キャンペーン	春	4月	中止	—
	夏	7月	7月12日	広島駅北口周辺
	秋	9月	中止	—
	年末	12月	12月1日	イオンモール広島府中
自転車交通マナー教室	第1回	6月	中止	—
	第2回	2月	12月20日	広島朝鮮初中高級学校
計	6回		3回	
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、開催に向けた協議を行う。				
○備考				